

VIA300

管理者モード説明書



目 次

1 概 要	1
2 詳細設定するには	2
2-1 WEB 設定を使用する	2
2-2 かんたん設定	3
2-2-1 固定 IP アドレスの設定	3
2-3 高度な設定	5
2-3-1 IP フィルターの設定	5
2-3-1-1 IP フィルターの追加	7
2-3-1-2 IP フィルターの削除	8
2-3-1-3 IP フィルターの編集	9
2-3-1-4 IP フィルターのコピー	10
2-3-1-5 IP フィルタールールの順位を下げる	11
2-3-1-6 IP フィルターの順位を上げる	12
2-3-2 Web 設定パスワードの変更	13
2-3-3 時刻の設定 (SNTP クライアント)	14
2-3-4 LAN ポートの設定	15
2-3-5 DHCP サーバーの設定	17
2-3-6 スタティックルートの設定	18
2-3-7 NAT の設定	19
2-3-8 VoIP-音量の調整	20
2-3-9 VoIP-回線選択テーブルの設定	21
2-3-9-1 プリフィックスの設定	21
2-3-9-2 回線選択テーブルへ追加	22
2-3-9-3 回線選択テーブルの削除	22
2-3-10 VoIP-QoS の設定	23
2-3-10-1 QoS の設定	23
2-3-10-2 上り帯域の設定	24
2-4 メンテナンス	25
2-4-1 システムログ	25
2-4-2 Ping のテスト	26
2-4-3 ファームウェアの更新	27
2-4-4 装置の再起動	28
2-4-5 設定の初期化	29
2-4-6 設定ファイルの書き込み / 取得	30
2-4-6-1 設定ファイルの書き込み	31
2-4-6-2 設定ファイルの取得	32

1 概要

本書は VIA300 専用設置説明書です。取扱説明書に記載していない詳細な設定について記載していません。取扱説明書と合わせてご利用ください。



- この説明書に記載している専門用語を充分ご理解の上でご利用下さい。不用意に設定されますと、**設定内容が不適切な場合、通信不能や設定不能になる事があります。**
- 新たな設定で、通信不能になった場合は、設定を元に戻して設定の誤りをお調べください。
- 新たな設定で、設定不能になった場合は、本機背面の「初期化スイッチ」を押しながら電源を入れて、全設定を初期化してから改めて設定をやり直してください。
- IP 電話の音声品質が保てなくなることが有ります。その場合は、「2-3-10 QoS の設定」をご参照ください。

2 詳細設定するには

本機で詳細な設定内容を変更するにはパソコンからInternet Explorer (5.0以降)を使って「管理者用のログイン」で設定する必要があります。

設定での入力は半角で大文字・小文字をご確認の上 正しく入力を御願います。

(注意：仕様の変更により説明書のWeb画面と多少異なる事がございます。)

2-1 Web設定を使用する

1. パソコンよりInternet Explorer (5.0以降) アイコンをダブルクリックします。



このアイコンをダブルクリックします。

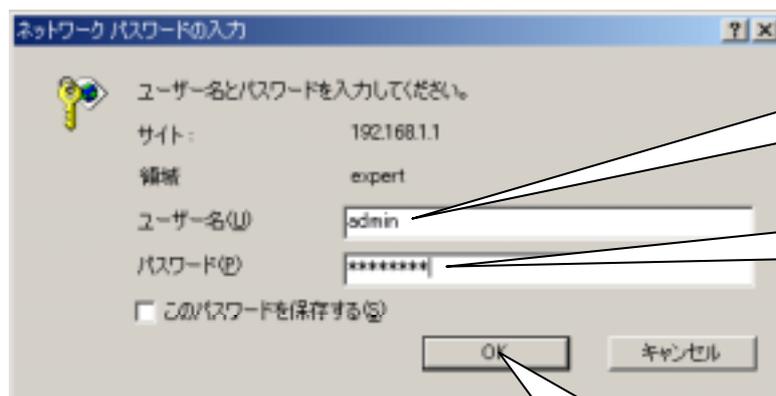
2. URLフィールドに本機のIPアドレス「192.168.1.1/Exp」を入力し、Enterキーを押します。



http://192.168.1.1/Exp
を入力します。

3. ユーザー名とパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックします。

ユーザー名 : admin
パスワード : administ



ユーザー名を
入力します。

パスワードを
入力します。

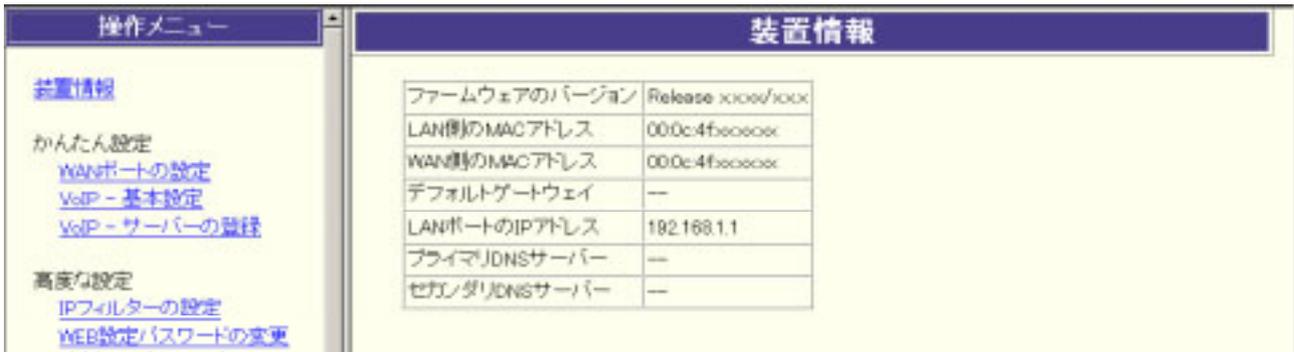
「OK」ボタンを
クリックします。



ワンポイント

- パスワードを変更するには、Web 設定で「高度な設定」 「WEB 設定パスワードの変更」 「パスワードの変更」。パスワードは最小1文字、最大10文字半角英数字です。大文字小文字の区別します。
- ユーザー名は変更できません。

4. 正しくユーザ名とパスワードを入力しますと、Web設定画面が表示されます。



2-2 かんたん設定

「かんたん設定」は、VIA300取扱説明書の「8 本機を設定するには」をご参照ください。ただし、「WANポートの設定」の接続方法の選択で「固定IPアドレス」が追加されていますので次項をご参照ください。

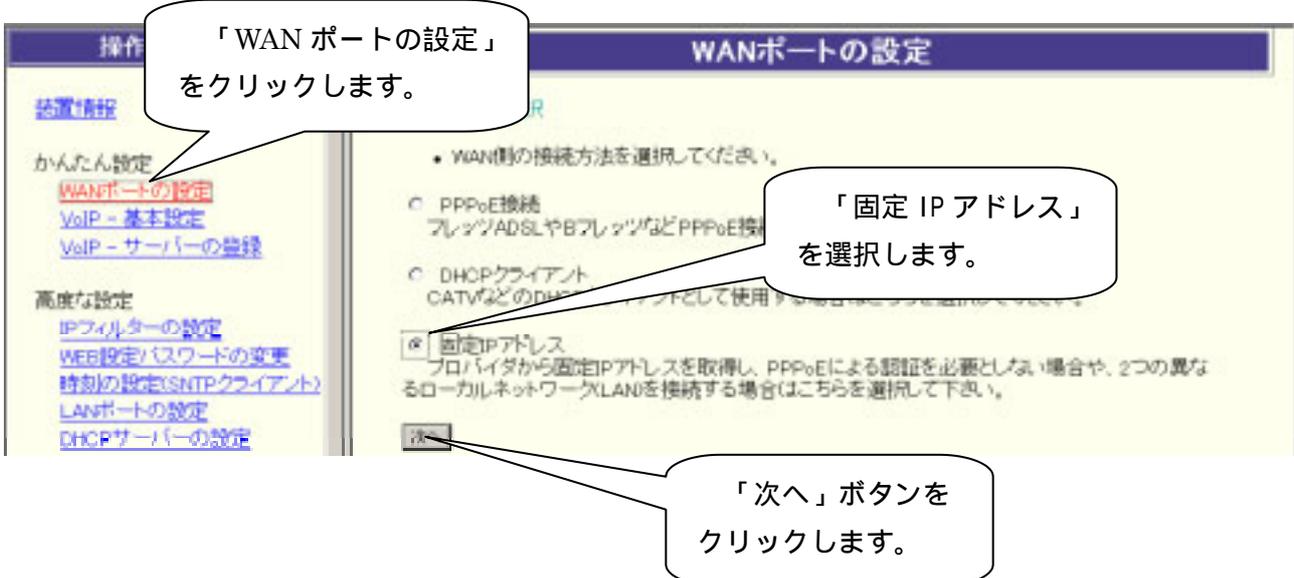
2-2-1 固定IPアドレスの設定

プロバイダから固定IPアドレスを取得し、PPPoEによる認証を必要としない場合や、2つの異なるローカルネットワーク(LAN)を接続する場合はこちらを選択して下さい。

1. 本機のWANランプが点灯していることをご確認ください。WANランプが消灯の場合、ADSLモデムと正常に接続できていない可能性があります。接続をご確認ください。
2. 「操作メニュー」から「かんたん設定」の「WANポートの設定」をクリックします。「接続方法の選択」画面が表示されます。

新規で「固定IPアドレス」を設定するときに「接続方法の選択」画面を表示しない場合は、他のWANポートの設定がされています。その場合は、「設定の初期化」をしてください。

3. 「接続方法の選択」で「固定IPアドレス」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。



4. 「WANポートの設定」画面で、以下の設定を行います。
5. 「WANポートの設定」設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

WANポートの設定

WANポートの設定

IPアドレス . . .

サブネットマスク ▼

プライマリDNSサーバー . . .

セカンダリDNSサーバー . . .

「設定」ボタン
をクリックします。

6. 上位接続先ルータへ固定経路を設定する場合は、「デフォルトルートを設定する」をクリックします。

WANポートの設定

WANポートの設定

IPアドレス . . .

サブネットマスク ▼

プライマリDNSサーバー . . .

セカンダリDNSサーバー . . .

[デフォルトルートを設定する](#)

「デフォルトルートを設定する」
をクリックします。

7. 「スタティックルート」画面で、以下の設定を行います。
8. 「ルートの追加」設定が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。

スタティックルートの設定

現在有効なルーティングテーブル

宛先IPアドレス/ネットマスク	ゲートウェイ
127.0.0.1	127.0.0.1
192.168.1.0/24	link#1

ルーティングテーブル

宛先IPアドレス/ネットマスク	ゲートウェイ
<input type="text"/>	<input type="text"/>

ルートの追加

宛先IPアドレス	宛先サブネットマスク	ネクストホップ
<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>	<input type="text" value="24 (255.255.255.0)"/> ▼	<input checked="" type="radio"/> IPアドレス <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> <input type="radio"/> 適用ポート <input type="text" value="PPPoE0"/> ▼

「追加」ボタンを
クリックします。

2-3 高度な設定

設定項目には、下記項目があります。

- IP フィルターの設定
- WEB 設定パスワードの変更
- 時刻の設定 (SNTP クライアント)
- LAN ポートの設定
- DHCP サーバーの設定
- スタティックルートの設定
- NAT の設定
- VoIP-音量の設定
- VoIP-回線選択テーブルの設定
- VoIP-QoS の設定
- 着信番号通知

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

「着信番号通知」は、VIA300 取扱説明書の「8.6 着信番号通知を設定する」をご参照ください。

2-3-1 IP フィルターの設定

不用意なトラブルやセキュリティの確保の為に、IP フィルターの設定を行います。

フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合がありますのでご注意ください。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「IP フィルターの設定」をクリックします。
2. 「IP フィルタールール」画面が表示されます。

「IP フィルターの設定」をクリックします。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[: ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[: ポート]
		入力	出力		
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 137 ~ 139
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 445
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 68
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 1 ~ 1023

3. 「IP フィルタールール」には、「追加」「削除」「編集」「コピー」「」「

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるIPフィルター情報のいづれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	プロトコル					
		入力	出力				削除	編集	コピー	↓	↑
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 137 ~ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 1 ~ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑



- パケットは IP フィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してある IP フィルター情報のいづれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IP フィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当する IP フィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

2-3-1-1 IP フィルターの追加

新たに、特定の IP パケットを遮断したり通過させるには、IP フィルターの追加をします。

1. 「IP フィルタールール」の「追加」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるIPフィルタールールのいづれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[: ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[: ポート]	プロトコル					
		入力	出力				削除	編集	コピー	↓	↑
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 137 ~ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 1 ~ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

追加 「追加」ボタンをクリックします。

2. 「IP フィルタールールの追加 / 編集」画面が表示されます。
3. 「IP フィルタールールの追加 / 編集」画面で、以下の設定を行います。
4. 登録が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールールの追加/編集

- フィルタールールをすべてのIPアドレスに適用する場合は、IPアドレスとネットマスクを 0 にしてください。
- TCP/UDPポートの範囲を割り当てる場合は最小と最大のポート番号を[-]ハイフンでつないで入力してください。
- フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合があります。

制御

送信元
IPアドレス ネットマスク TCP/UDPポート

宛先
IPアドレス ネットマスク TCP/UDPポート

プロトコル

適用するタイミング

適用するポート LAN WAN PPPoE

設定 「設定」ボタンをクリックします。

が初期値です。

項目	設定	内容
制御	遮断	IP パケットのうちで遮断する IP パケットを登録します。
	通過	特定の IP パケットを通過する IP パケットを登録します。
送信元	IP パケット送信元	
IP アドレス	-	IP アドレスを入力します。 設定例 xxx.xxx.xxx.xxx
ネットマスク	0-32	0(0.0.0.0) ~ 32(255.255.255.255) ネットマスクを選択します。
TCP/UDP ポート	-	TCP/UDP ポート番号を入力します。(0-65535)
宛先	IP パケット受け取り先	
IP アドレス	-	IP アドレスを入力します。 設定例 xxx.xxx.xxx.xxx
ネットマスク	0-32	0(0.0.0.0) ~ 32(255.255.255.255) ネットマスクを選択します。
TCP/UDP ポート	-	TCP/UDP ポート番号を入力します。(0-65535)
プロトコル	全て GRE	全て / ICMP / IGMP / TCP / UDP / RSVP / OSPF / TCP/UDP / GRE / 指定プロトコルを選択します。
適応する タイミング	入力	入力する IP パケットを指定します。
	出力	出力する IP パケットを指定します。
適応するポート	LAN WAN PPPoE0	LAN / WAN / PPPoE0 適応するポートを選択します。



- フィルタールールをすべての IP アドレスに適用する場合は、IP アドレスとネットマスクを 0 にしてください。
- TCP/UDP ポートの範囲を割り当てる場合は最小と最大のポート番号を[-]ハイフンでつないで入力してください。
- **フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合があります。**

2-3-1-2 IP フィルターの削除

登録済みの IP フィルターを削除するには、削除する IP フィルターの設定の行にある「削除」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過またはのりずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[: ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[: ポート]	プロトコル					
		入力	出力				削除	編集	コピー	↓	↑
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 137 ~ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 1 ~ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

「削除」ボタンをクリックします。

2-3-1-3 IPフィルターの編集

登録済みの IP フィルターを変更するには、変更する IP フィルターの設定の行にある「編集」ボタンをクリックします。

1. 「IP フィルタールール」の「編集」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方針のいづれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押して、コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[: ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[: ポート]	プロトコル					
		入力	出力				削除	編集	コピー	↓	↑
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 137 ~ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス : 全てのポート	全てのアドレス : 1 ~ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

「編集」ボタンをクリックします。

2. 「IP フィルタールール追加 / 編集」画面が表示されます。
3. 「IP フィルタールール追加 / 編集」画面で、以下の設定を行います。(設定項目の説明は、「2-3-1 IP フィルターの追加」をご参照ください。)
4. 編集が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールールの追加/編集

- フィルタールールをすべてのIPアドレスに適用する場合は、IPアドレスとネットマスクを 0 にしてください。
- TCP/UDPポートの範囲を割り当てる場合は最小と最大のポート番号を[-]ハイフンでつないで入力してください。
- **フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合があります。**

制御

送信元
IPアドレス ネットマスク TCP/UDPポート

宛先
IPアドレス ネットマスク TCP/UDPポート

プロトコル

適用するタイミング

適用するポート LAN WAN PPPoE

「設定」ボタンをクリックします。

2-3-1-4 IP フィルターのコピー

該当する IP フィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。コピーする IP フィルターの設定の行にある「コピー」ボタンをクリックします。

1. 「IP フィルタールール」の「コピー」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または拒否され、一致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	プロトコル					
		入力	出力				削除	編集	コピー	↓	↑
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 137 ~ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 1 ~ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

「コピー」ボタンをクリックします。

2. 「IP フィルタールールを追加 / 編集」画面が表示されます。
3. 「IP フィルタールールを追加 / 編集」画面で、以下の設定を行います。(設定項目の説明は、「2.3.1.1 IP フィルターの追加」をご参照ください。)
4. 編集が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールールを追加/編集

- フィルタールールをすべてのIPアドレスに適用する場合は、IPアドレスとネットマスクを 0 にしてください。
- TCP/UDPポートの範囲を割り当てる場合は最小と最大のポート番号を[-]ハイフンでつないで入力してください。
- フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合があります。

制御

送信元
IPアドレス ネットマスク TCP/UDPポート

宛先
IPアドレス ネットマスク TCP/UDPポート

プロトコル

適用するタイミング

適用するポート LAN WAN PPPoE

「設定」ボタンをクリックします。

2-3-1-5 IP フィルタールールの順位を下げる

IP フィルタールールの順位を下げる場合は↓ボタンを押します。順位を下げる IP フィルターの設定の行にある「↓」ボタンをクリックします。

1. 「IP フィルタールール」の「↓」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断され、登録してあるIPフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

「↓」ボタンをクリックします。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	プロトコル					
		入力	出力				削除	編集	コピー	↓	↑
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 137 ~ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 1 ~ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

追加

2. 「IP フィルタールール」が移動している事を確認します。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるIPフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	プロトコル					
		入力	出力				削除	編集	コピー	↓	↑
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 137 ~ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 1 ~ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

追加



注意

- パケットは IP フィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してある IP フィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。

2-3-1-6 IP フィルターの順位を上げる

IP フィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を上げる IP フィルターの設定の行にある「 」ボタンをクリックします。

1. 「IP フィルタールール」の「 」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	プロトコル					
		入力	出力				削除	編集	コピー	↓	↑
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 197 ~ 199	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 1 ~ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

追加

「 」ボタンをクリックします。

2. 「IP フィルタールール」が移動している事を確認します。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるIPフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	プロトコル					
		入力	出力				削除	編集	コピー	↓	↑
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 197 ~ 199	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス: 全てのポート	全てのアドレス: 1 ~ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

追加



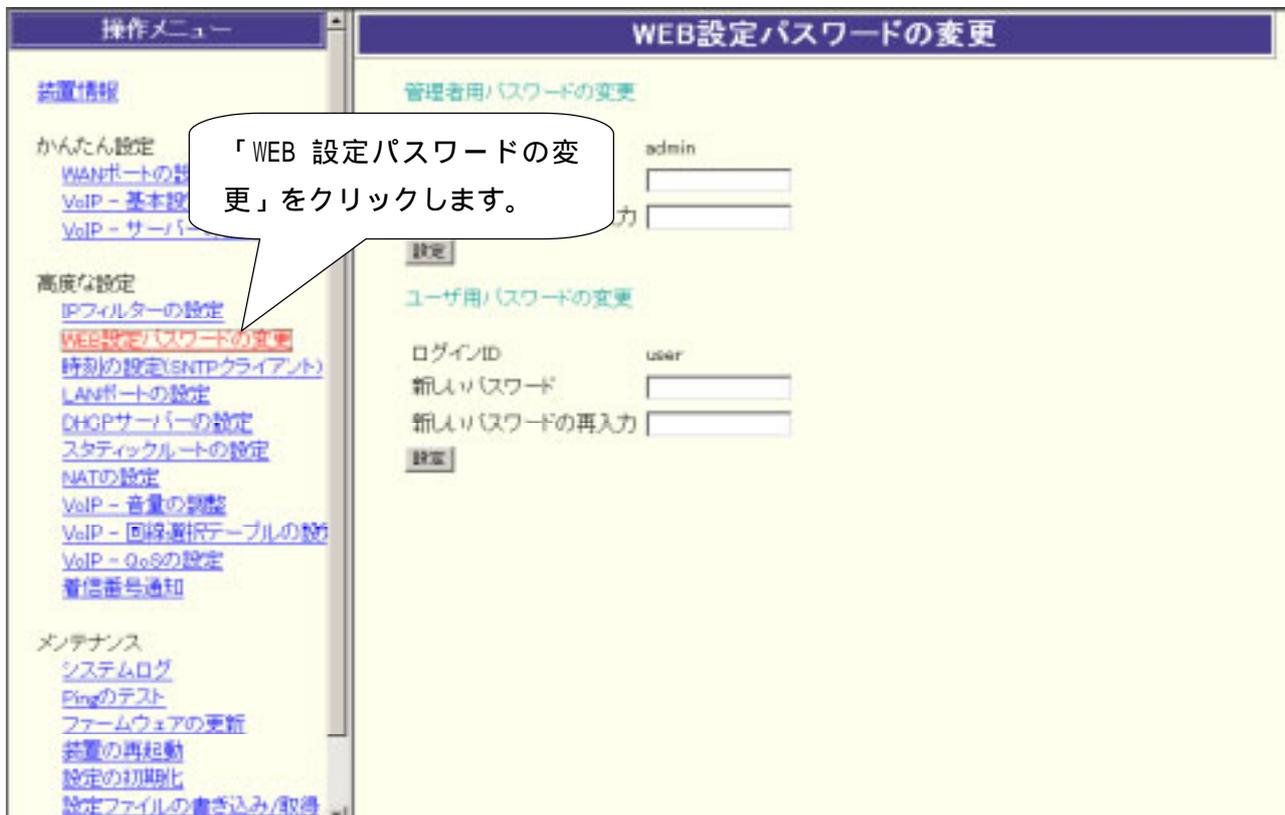
注意

- パケットは IP フィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してある IP フィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。

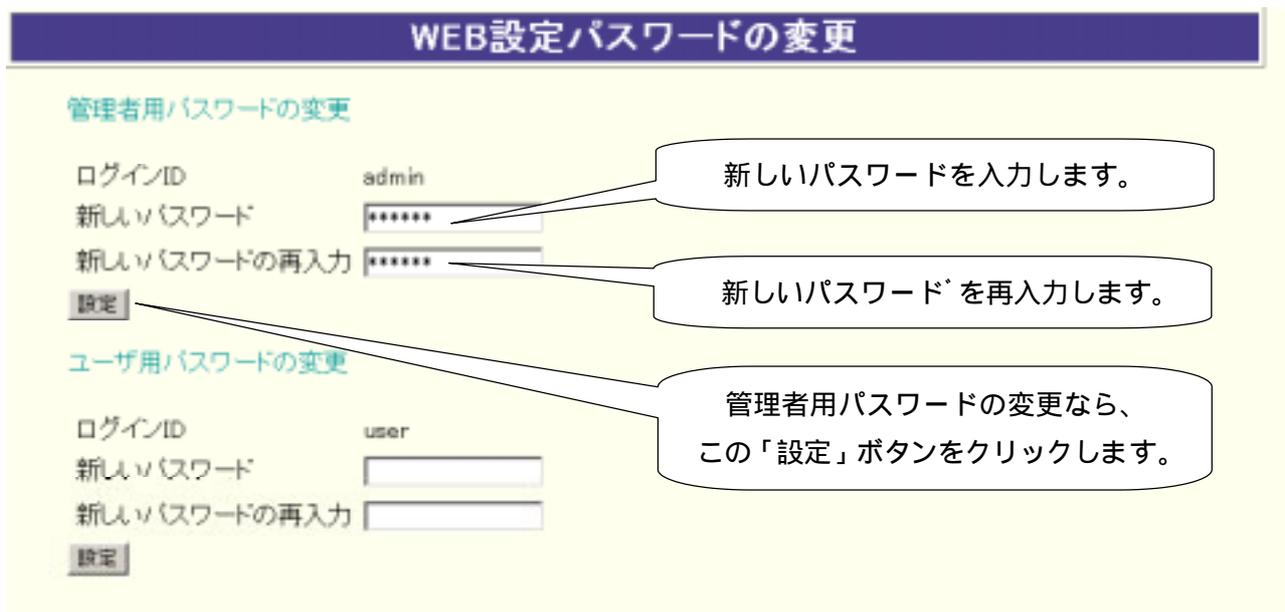
2-3-2 Web 設定パスワードの変更

パスワードには「管理者用パスワード」と「ユーザ用パスワード」があります。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「WEB 設定パスワードの変更」をクリックします。
2. 「WEB 設定パスワードの変更」画面が表示されます。



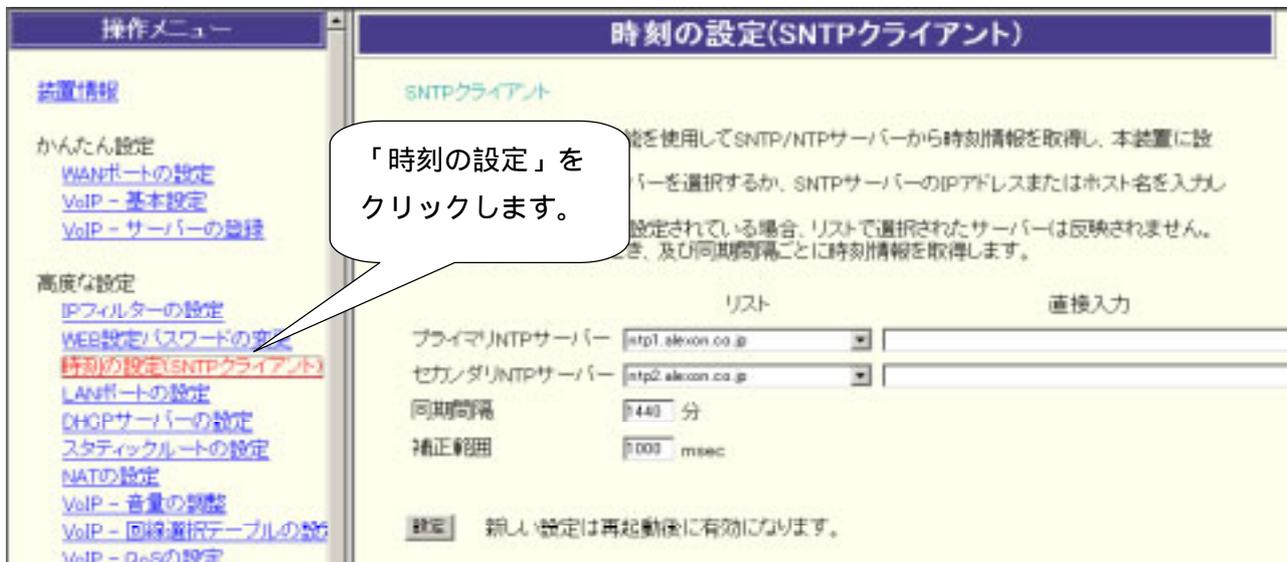
3. 例えば、「管理者用パスワードの変更」の場合、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの再入力」に同じパスワードを入力します。入力が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。(パスワードは最小 1 文字、最大 10 文字半角英数字です。大文字小文字の区別をします。)



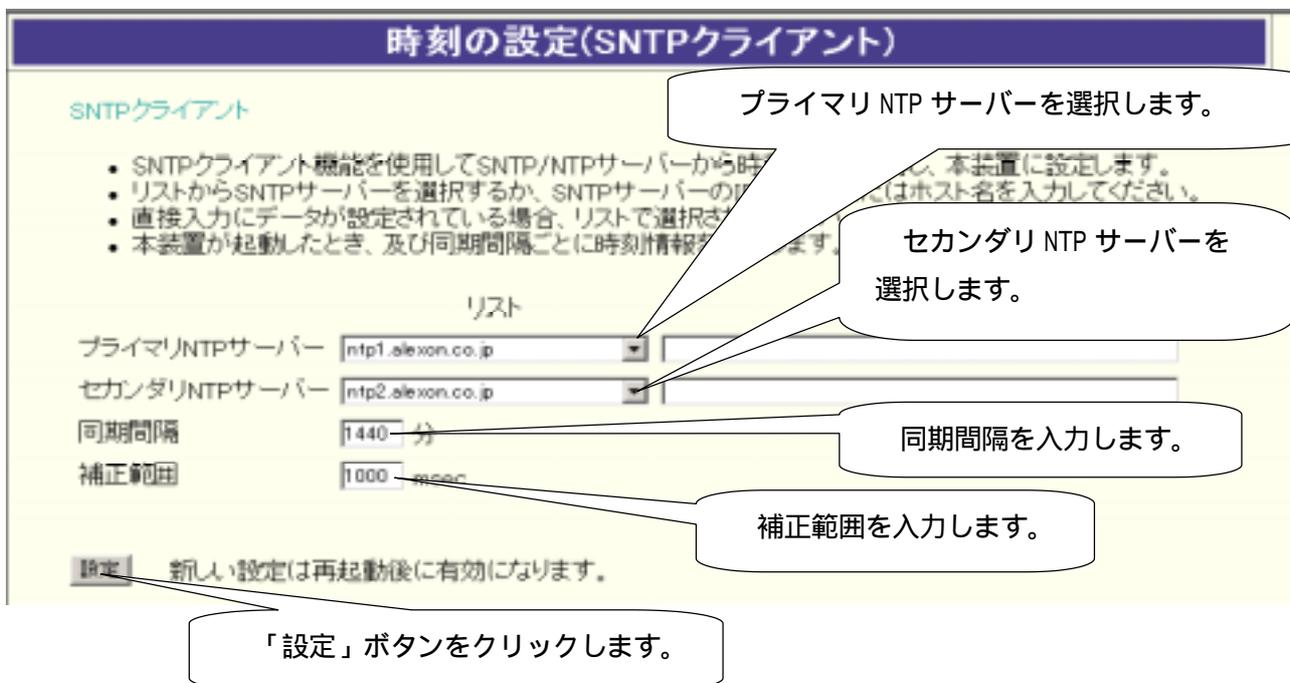
2-3-3 時刻の設定 (SNTP クライアント)

指定した SNTP/NTP サーバーから定期的 時刻情報を取得します。(工場出荷値で問題なく機能致します。) 本機が起動したとき、及び同期間隔ごとに時刻情報を取得します。

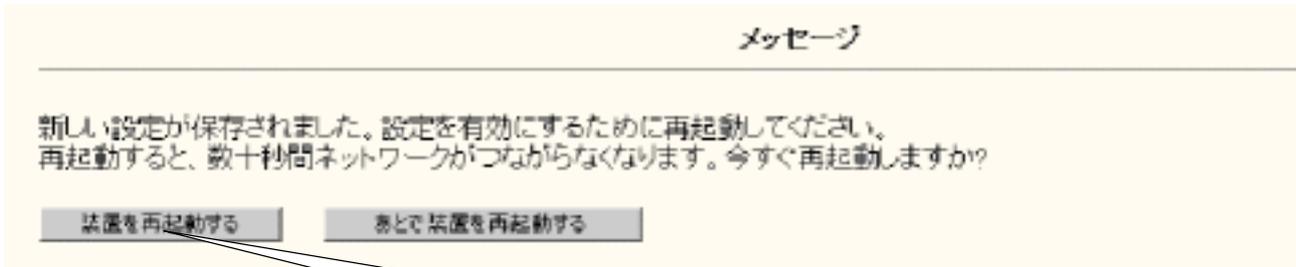
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「時刻の設定 (SNTP クライアント)」をクリックします。
2. 「時刻の設定 (SNTP クライアント)」画面が表示されます。



3. 時刻情報を取得するために SNTP/NTP サーバーを指定します。リストから SNTP サーバーを選択するか、SNTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力してください。直接入力にデータが設定されている場合、リストで選択されたサーバーは反映されません。
4. 設定した同期間隔に時刻情報を取得します。同期間隔を短くすると NTP サーバーとのトラフィックを増やす事になり、負荷が増えて時刻補正が困難になります。適切な時間を設定してください。
5. 設定した補正範囲で時刻を補正します。



6. 設定が完了し、「設定」ボタンをクリックしますと下記メッセージを表示します。
7. 「装置を再起動する」ボタンをクリックしますと設定を有効にします。再起動すると、数十秒間ネットワークが繋がらなくなります。
8. 「あとで装置を再起動する」ボタンをクリックしますと設定は有効にはなりませんが、次の項目の設定が可能です。

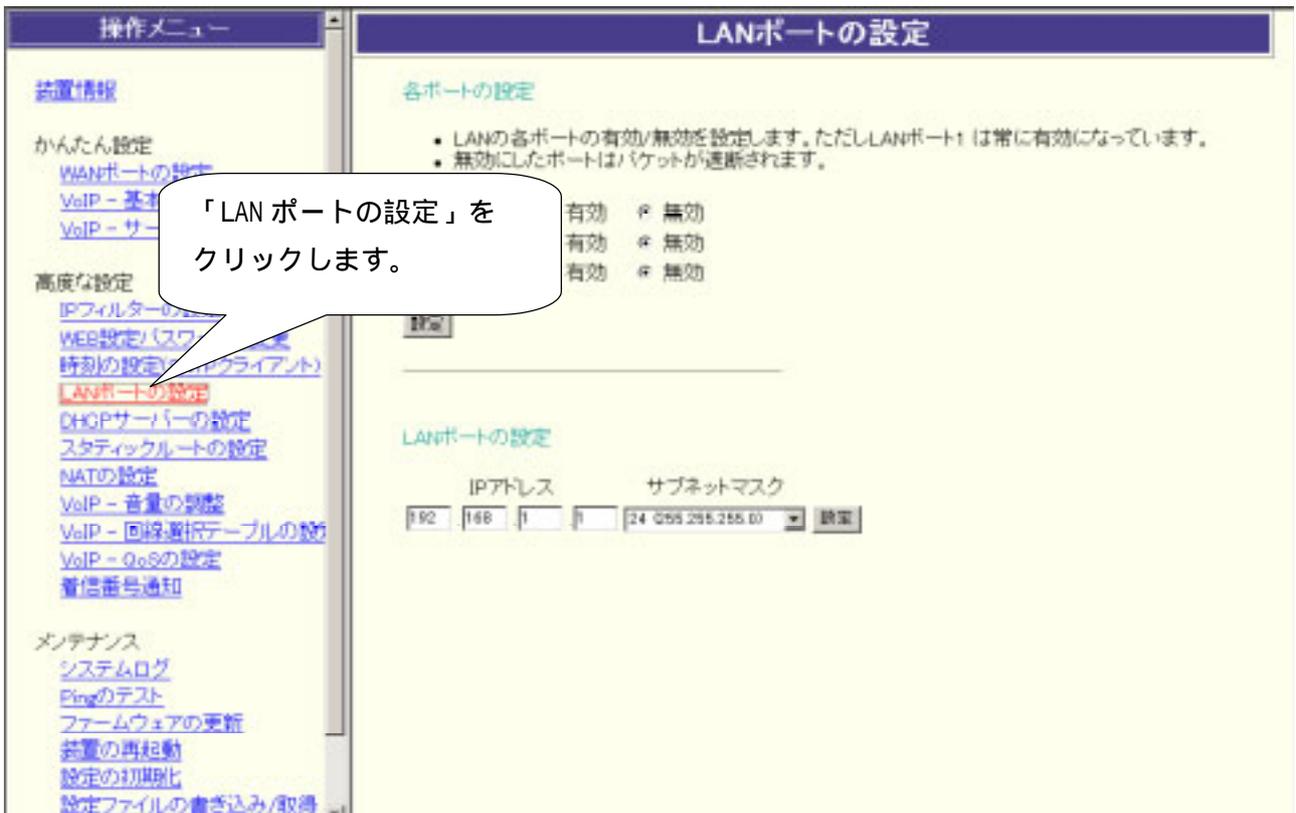


「装置を再起動する」ボタンをクリックします。

2-3-4 LAN ポートの設定

LAN ポート 2~4 まで有効 / 無効の設定をします。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「LAN ポートの設定」をクリックします。
2. 「LAN ポートの設定」画面が表示されます。



3. LAN ポートを「有効」に設定するには、「各ポートの設定」で LAN ポート 2~4 を指定します。設定例として、「LAN ポート 2」を有効にして「設定」ボタンをクリックします。

LANポートの設定

各ポートの設定

- LANの各ポートの有効/無効を設定します。ただしLANポート1は常に有効になっています。
- 無効にしたポートはパケットが遮断されます。

LANポート2 有効 無効

LANポート3 有効 無効

LANポート4 有効 無効

設定

LANポートの設定

IPアドレス サブネットマスク

192 168 1 1 24 (255.255.255.0) **設定**

4. LAN ポート側の IP アドレスを設定するには、「LAN ポートの設定」で IP アドレスを入力しサブネットマスクを指定します。

LANポートの設定

各ポートの設定

- LANの各ポートの有効/無効を設定します。ただしLANポート1は常に有効になっています。
- 無効にしたポートはパケットが遮断されます。

LANポート2 有効 無効

LANポート3 有効 無効

LANポート4 有効 無効

設定

LANポートの設定

IPアドレス サブネットマスク

192 168 1 1 24 (255.255.255.0) **設定**

5. 設定を有効にするために再起動してください。

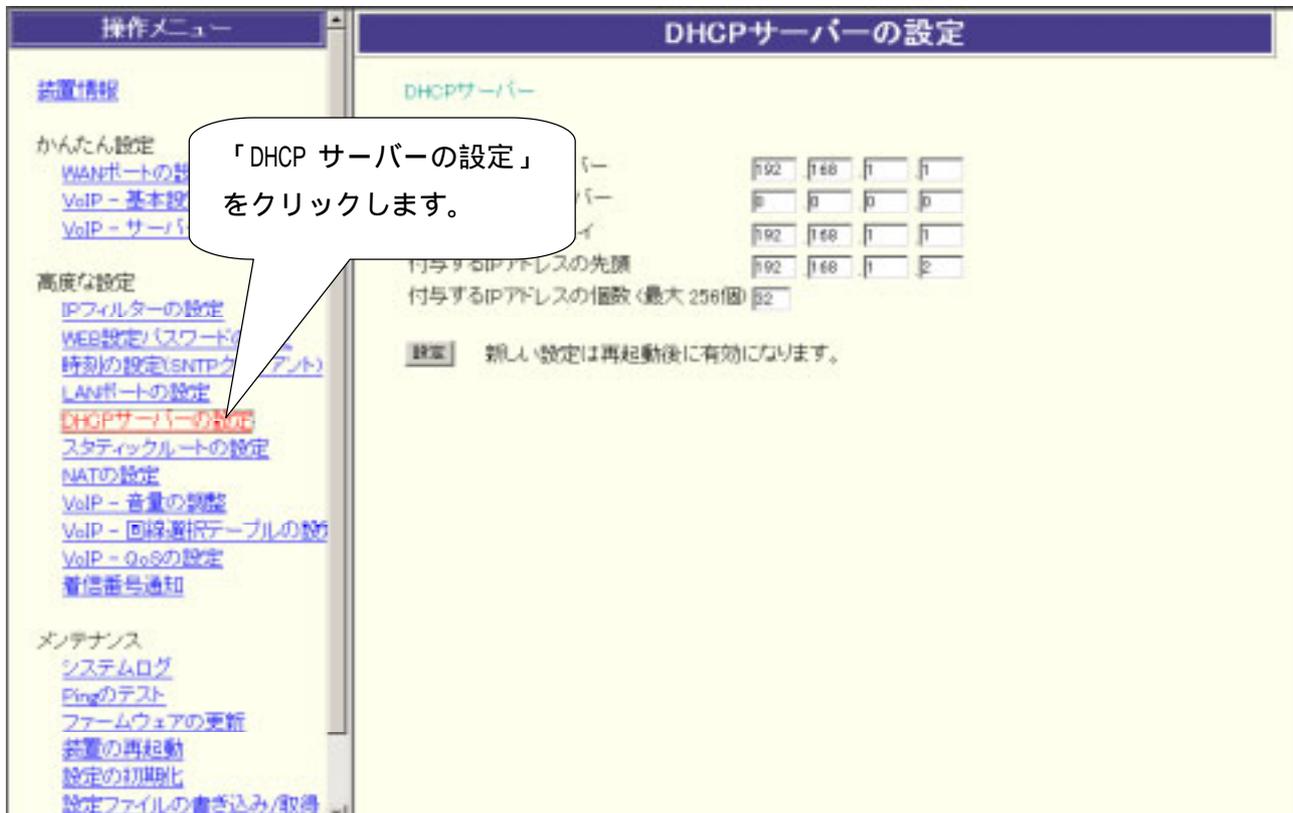


- LAN ポート 1 は常に有効になっています。無効にはできません。
- 無効にしたポートはパケットが遮断されます。

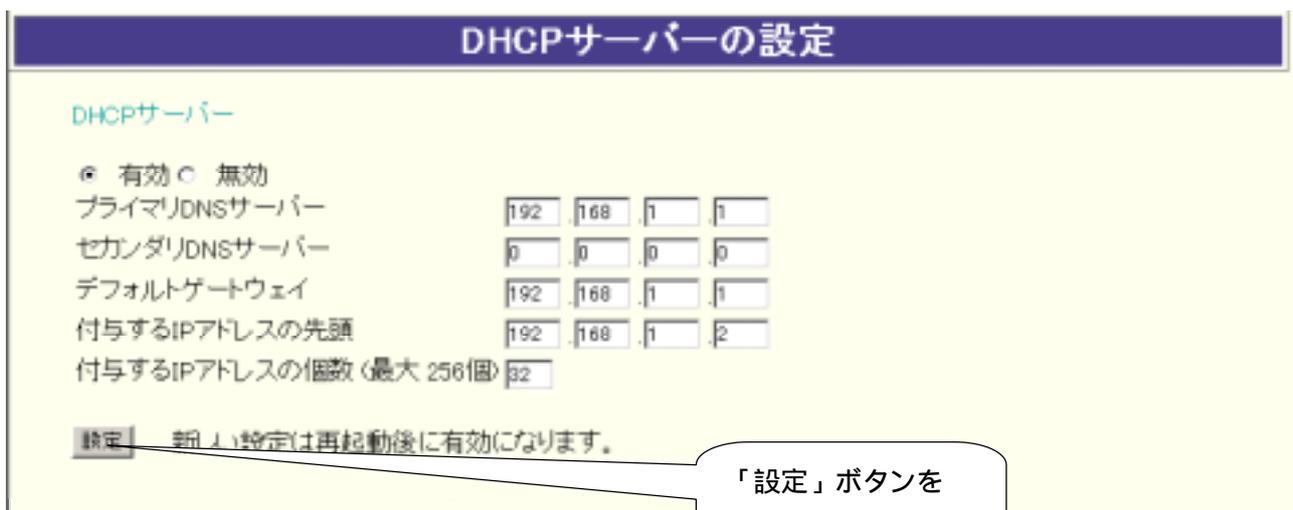
2-3-5 DHCP サーバーの設定

本機を DHCP サーバーと DNS サーバーとして機能させるかを設定します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「DHCP サーバーの設定」をクリックします。
2. 「DHCP サーバーの設定」画面が表示されます。



3. 「DHCP サーバーの設定」画面で、以下の設定を行います。
4. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

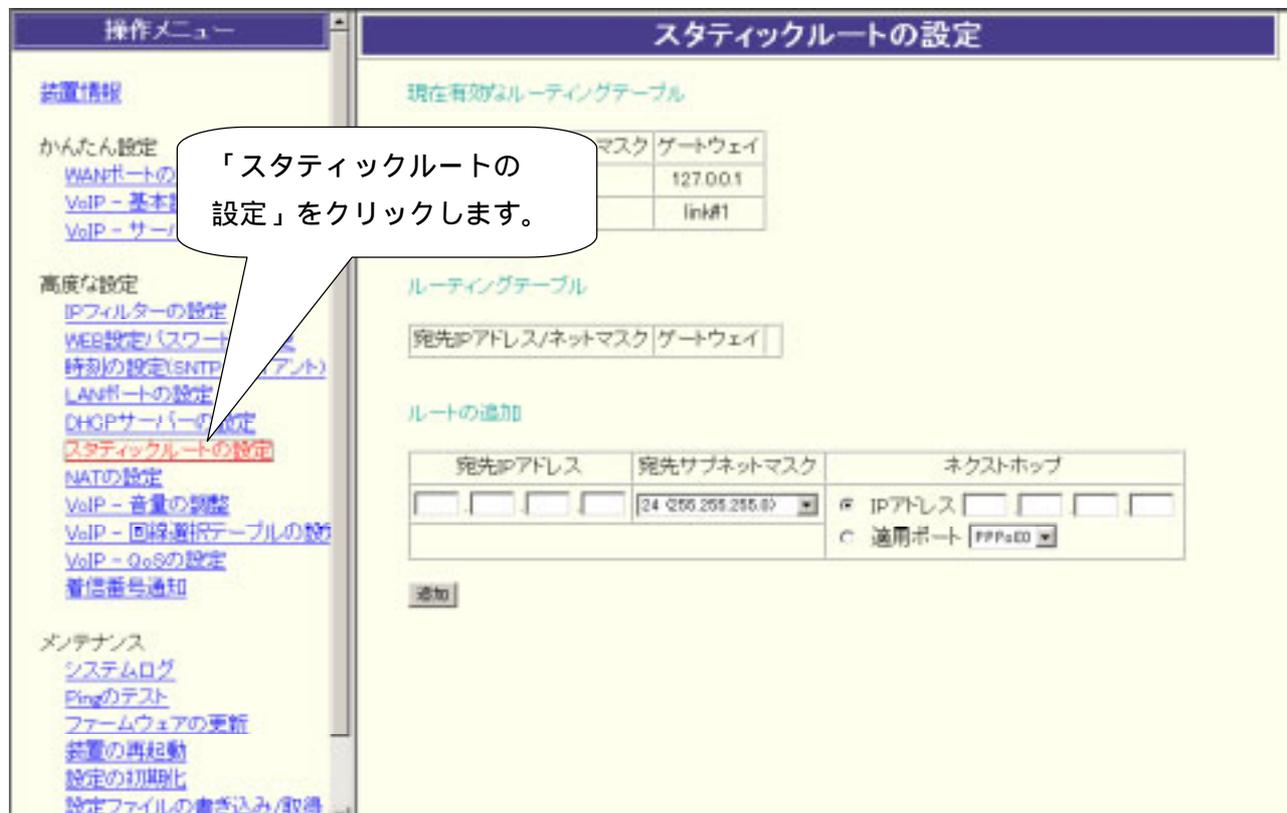


5. 設定を有効にするために再起動してください。

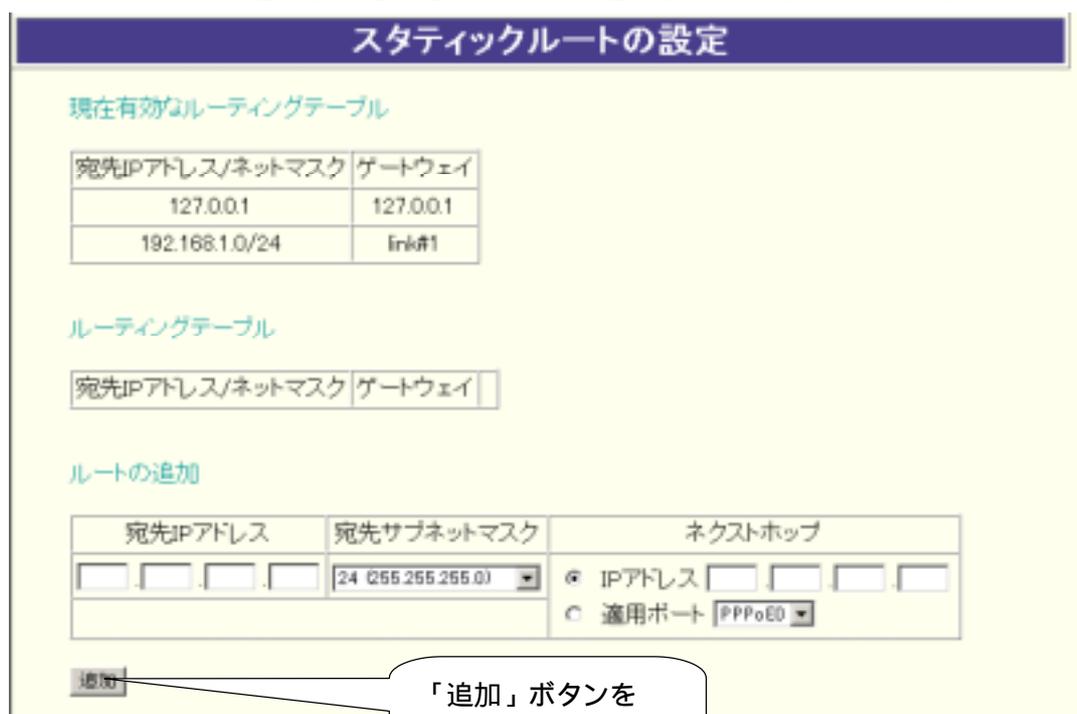
2-3-6 スタティックルートの設定

上位接続先ルータへ固定経路を設定します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「スタティックルートの設定」をクリックします。
2. 「スタティックルートの設定」画面が表示されます。



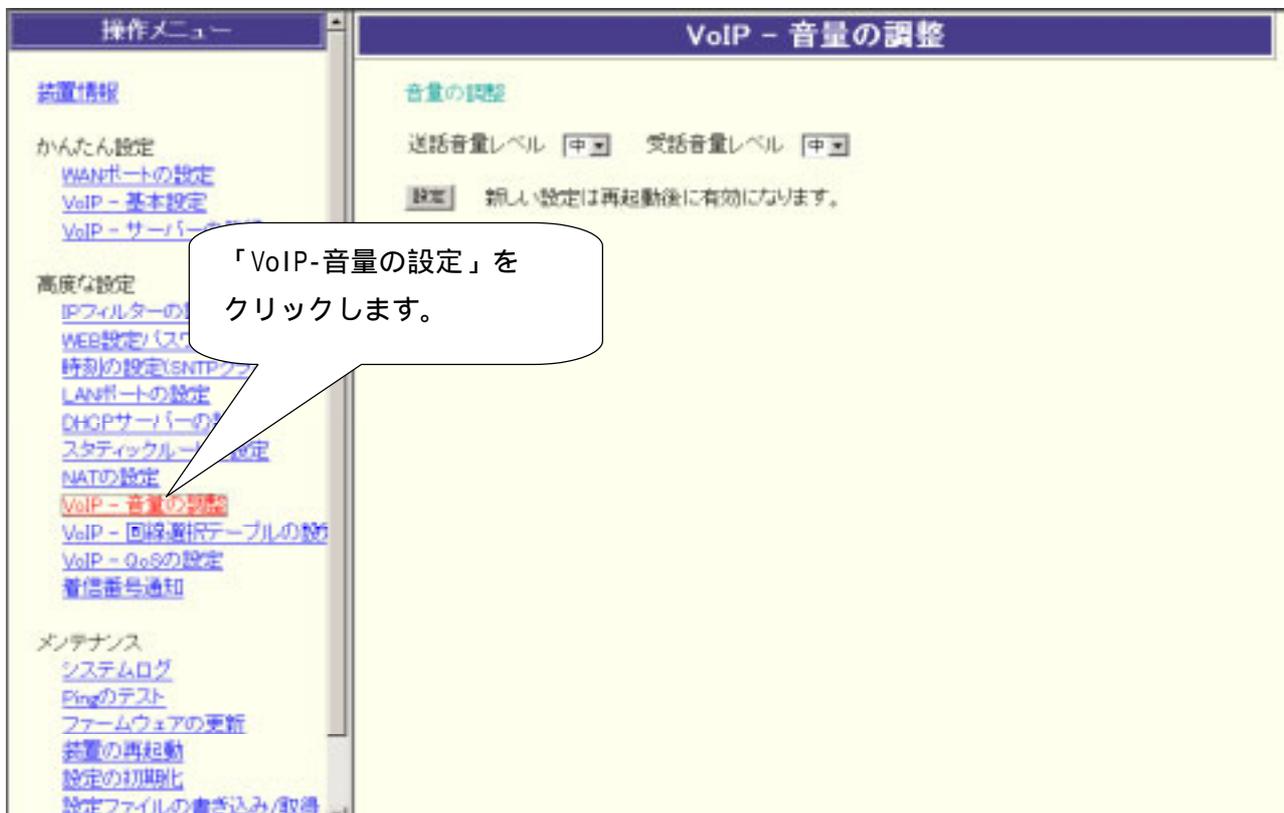
3. 「スタティックルートの設定」画面で、以下の設定を行います。
4. 「ルートの追加」設定が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。



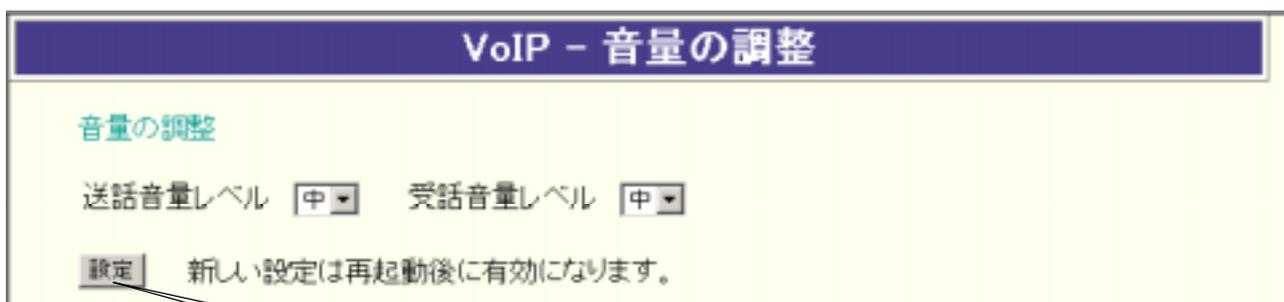
2-3-8 VoIP-音量の調整

VoIP-音量の調整します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「VoIP-音量の調整」をクリックします。
2. 「VoIP-音量の調整」画面が表示されます。



3. 「VoIP-音量の調整」画面で、以下の設定を行います。
4. 「VoIP-音量の調整」設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



が初期値です。

設定項目	大	<input checked="" type="checkbox"/>	小
------	---	-------------------------------------	---

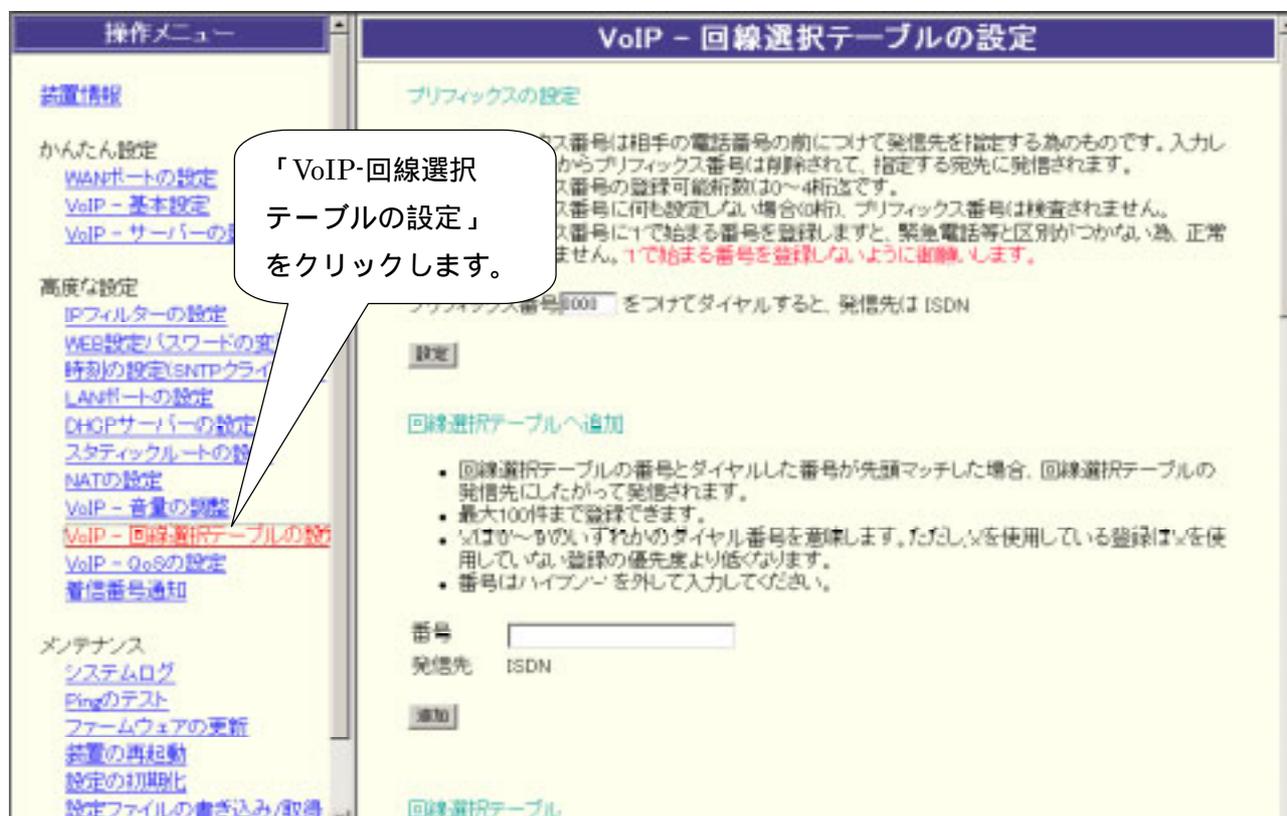
上記仕様は、予告なく変更する場合があります。

5. 設定を有効にするために再起動してください。

2-3-9 VoIP-回線選択テーブルの設定

「プリフィックスの設定」・「回線選択テーブルへ追加」・「回線選択テーブルの削除」をします。

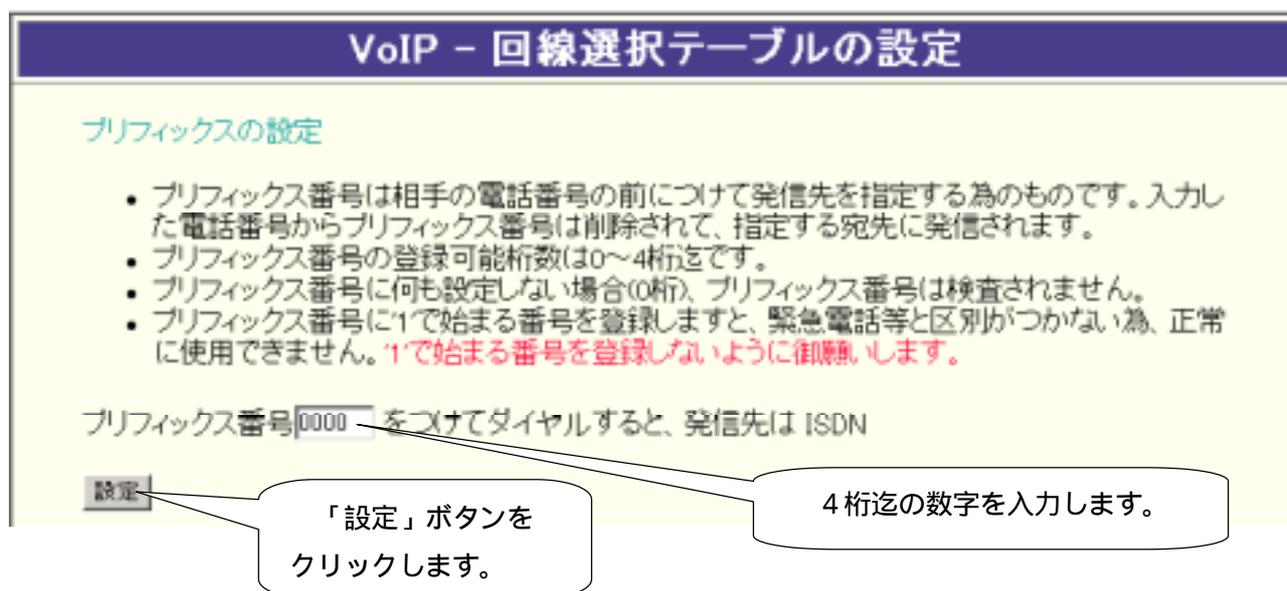
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「VoIP-回線選択テーブルの設定」をクリックします。
2. 「VoIP-回線選択テーブルの設定」画面が表示されます。



2-3-9-1 プリフィックスの設定

ISDN 回線へ直接発信するには、電話番号の先頭にプリフィックス番号（初期値：0000）を付加しますが、このプリフィックス番号を設定します。

1. 「プリフィックスの設定」の「プリフィックス番号」を入力します。
2. 入力が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



2-3-9-2 回線選択テーブルへ追加

プリフィックス番号を使わずに直接 ISDN 回線へ発信するには、回線選択テーブルへ登録が必要です。(例えば、番号 03 を回線選択テーブルへ追加しますと、03 で始まる電話番号は総て直接 ISDN 回線へ発信します。)

1. 「回線選択テーブルへ追加」の「番号」を入力します。
2. 入力が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。

回線選択テーブルへ追加

- 回線選択テーブルの番号とダイヤルした番号が先頭マッチした場合、回線選択テーブルの発信先にしたがって発信されます。
- xは0～9のいずれかのダイヤル番号を意味します。ただし、xを使用している登録はxを使用していない登録の優先度より低くなります。
- 番号はハイフン「-」を外して入力してください。

番号

発信先 ISDN

「番号」を入力します。

「追加」ボタンをクリックします。

2-3-9-3 回線選択テーブルの削除

回線選択テーブルへ追加した電話番号を削除できます。

1. 「回線選択テーブルへ追加」した番号を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

回線選択テーブル

- 回線選択テーブルにマッチしない場合、発信先はISDNになります。
- 工場出荷時にあらかじめ設定されてある登録は削除できません。
- 0だけ登録しますと、0で始まる電話番号は全てISDN発信と見なされ、VoIP通話ができなくなります。

No.	番号	発信先
1	10x	ISDN
2	11x	ISDN
3	12x	ISDN
...
39	09x	VoIP
40	0033	VoIP

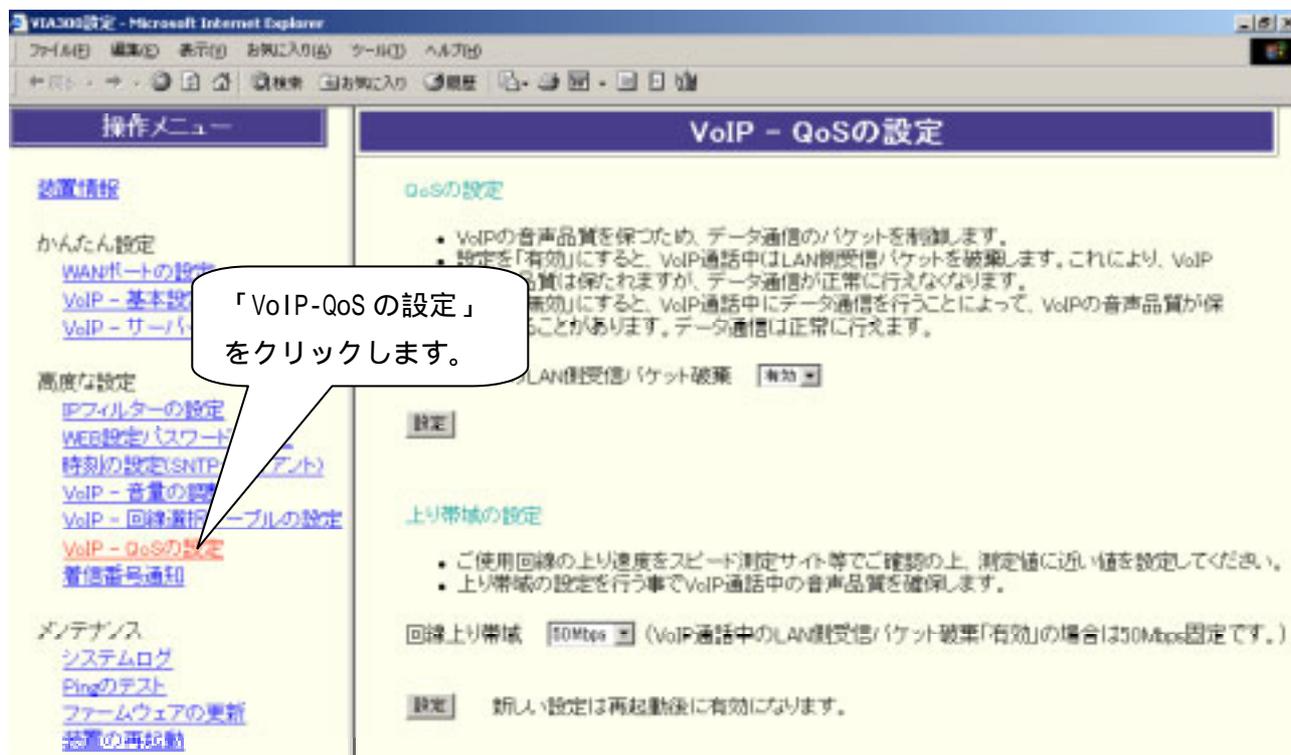
No.	番号	発信先	
1	072	ISDN	<input type="button" value="削除"/>

「削除」ボタンをクリックします。

2-3-10 VoIP-QoS の設定

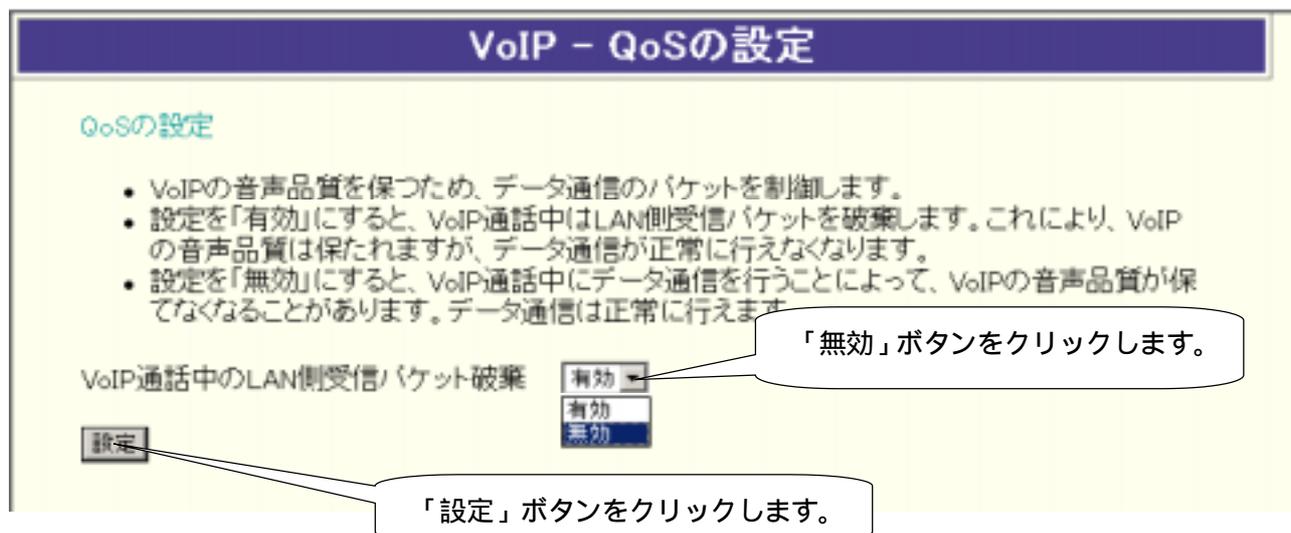
IP 電話の音声品質を保つためパケットを制御します。

1. 本機の PPP ランプが点灯していることをご確認ください。PPP ランプが消灯の場合は、「8.2 WAN ポートの設定をする」からご確認ください。
2. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「VoIP-QoS の設定」をクリックします。「VoIP-QoS の設定」を表示されます。



2-3-10-1 QoS の設定

1. 「VoIP-QoS の設定」画面で、IP 電話の音声品質を犠牲にしてデータ通信を確実に行うには「無効」の設定をします。
2. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



が初期値です。

設定	内容
有効	IP 通話中は LAN 側受信パケットを破棄します。この設定を行う事により、IP 電話の音声品質は保たれますが、通話中はデータ通信が正常に行えなくなります。2-3-10-2 項の上り帯域の設定は、50Mbps 固定となります。設定後に「装置の再起動」をしてください。
無効	IP 通話中にデータ通信を行うことによって、IP 電話の音声品質が保てなくなることがあります。この設定を行う事により、データ通信は正常に行えます。2-3-10-2 項の上り帯域の設定が 250kbps ~ 50Mbps (初期値) 迄設定が可能です。設定後に「装置の再起動」をしてください。

2-3-10-2 上り帯域の設定

ご使用回線の上り速度をスピード測定サイト等でご確認の上、測定値に近い値を設定してください。上り帯域を適切な設定を行うことにより VoIP 通話中の音声品質を確保します。

1. 「VoIP-QoS の設定」画面で、IP 電話の音声品質を確保する為に「上り帯域の設定」を行います。但し、この設定前に「VoIP-QoS の設定」の「無効」を設定する必要があります。
2. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Upstream Bandwidth Setting' screen. At the top, there are two bullet points: 'ご使用回線の上り速度をスピード測定サイト等でご確認の上、測定値に近い値を設定してください。' and '上り帯域の設定を行う事でVoIP通話中の音声品質を確保します。'. Below this is a dropdown menu for '回線の上り帯域' (Upstream Bandwidth) currently set to '50Mbps'. A note next to it says '(VoIP通話中のLAN側受信パケット破棄「有効」の場合は50Mbps固定です。)' (Fixed at 50Mbps when LAN-side received packet discard is 'Effective'). At the bottom left is a '設定' (Settings) button. A callout bubble points to the dropdown menu with the text '該当回線の上り帯域を選択します。' (Select the upstream bandwidth of the corresponding line). Another callout bubble points to the '設定' button with the text '「設定」ボタンをクリックします。' (Click the 'Settings' button).

3. 「装置の再起動」画面が表示されます。
4. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。

ご参考

回線の上り帯域は、250kbps、400kbps、600kbps、800kbps、1Mbps、3Mbps、5Mbps、10Mbps、30Mbps、50Mbps (初期値) の内、即適値に近い値を設定してください。

2-4 メンテナンス

設定項目には、下記項目があります。

- システムログ
- Ping のテスト
- ファームウェアの更新
- 装置の再起動
- 設定の初期化
- 設定ファイルの書き込み / 取得

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

2-4-1 システムログ

システムログを表示します。ログ表示は新しいものから順に表示します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「システムログ」をクリックします。
2. 「システムログ」画面が表示されます。
3. 最新のシステムログを参照するには、「システムログを更新する」をクリックします。
4. システムログを消去するには、「システムログを消去する」をクリックします。

「システムログ」をクリックします。

Seq no.	Date	Time	log type	log code	Message or Data
0080015	2003/01/01	00:00:14.167	01420a82	18008008	ADD dst 192.168.1.0/24, router 192.168.1.1, metric
0080014	2003/01/01	00:00:14.161	0114039b	18008008	part 8 link up
0080013	2003/01/01	00:00:12.806	01420a82	18008008	DELETE dst 192.168.1.0/24, router 192.168.1.1, set
0080012	2003/01/01	00:00:12.801	0114039b	18008008	part 8 link down
0080011	2003/01/01	00:00:02.167	017a0f80	18008008	sntpcd: can't send request to NTP Server2(ntp2.aliex
0080010	2003/01/01	00:00:02.167	017a0f80	18008008	sntpcd: can't send request to NTP Server1(ntp1.aliex
0080009	2003/01/01	00:00:00.807	01420a82	18008008	ADD dst 192.168.1.0/24, router 192.168.1.1, metric
0080008	2003/01/01	00:00:00.801	0114039b	18008008	part 8 link up
0080007	2003/01/01	00:00:00.806	01420a82	18008008	DELETE dst 192.168.1.0/24, router 192.168.1.1, set
0080006	2003/01/01	00:00:00.801	0114039b	18008008	part 8 link down
0080005	2003/01/01	00:00:00.800	01930080	18008008	ALTO: eria enabled on interface ewan0 (mtu:1500)
0080004	2003/01/01	00:00:00.800	01930080	18008008	ALTO: prio enabled on interface pos0 (mtu:1492)
0080003	2003/01/01	00:00:00.800	01930080	18008008	ALTO: prio enabled on interface eian0 (mtu:1500)
0080002	2003/01/01	00:00:00.805	01930080	18008008	ALTO: tbr installed on eian0 (rate:50.00M size:11
0080001	2003/01/01	00:00:00.821	01930080	18008008	ALTO: tbr installed on pos0 (rate:50.00M size:11
0080000	2003/01/01	00:00:00.827	01930080	18008008	ALTO: tbr installed on ewan0 (rate:50.00M size:11
0080000	2003/01/01	00:00:00.811	01770010	18008008	STP: VoIP-STP Task Started
0080000	2003/01/01	00:00:00.805	01420a82	18008008	ADD dst 127.0.0.0/8, router 127.0.0.1, metric 1, f
0080000	2003/01/01	00:00:00.804	01420a82	18008008	ADD dst 192.168.1.0/24, router 192.168.1.1, metric
0080000	2003/01/01	00:00:00.800	01930082	18008008	eian0: set ifaddr 192.168.1.1 mask 255.255.255.0
0080000	2003/01/01	00:00:00.800	01981081	18008001	NPOS 42.8.0

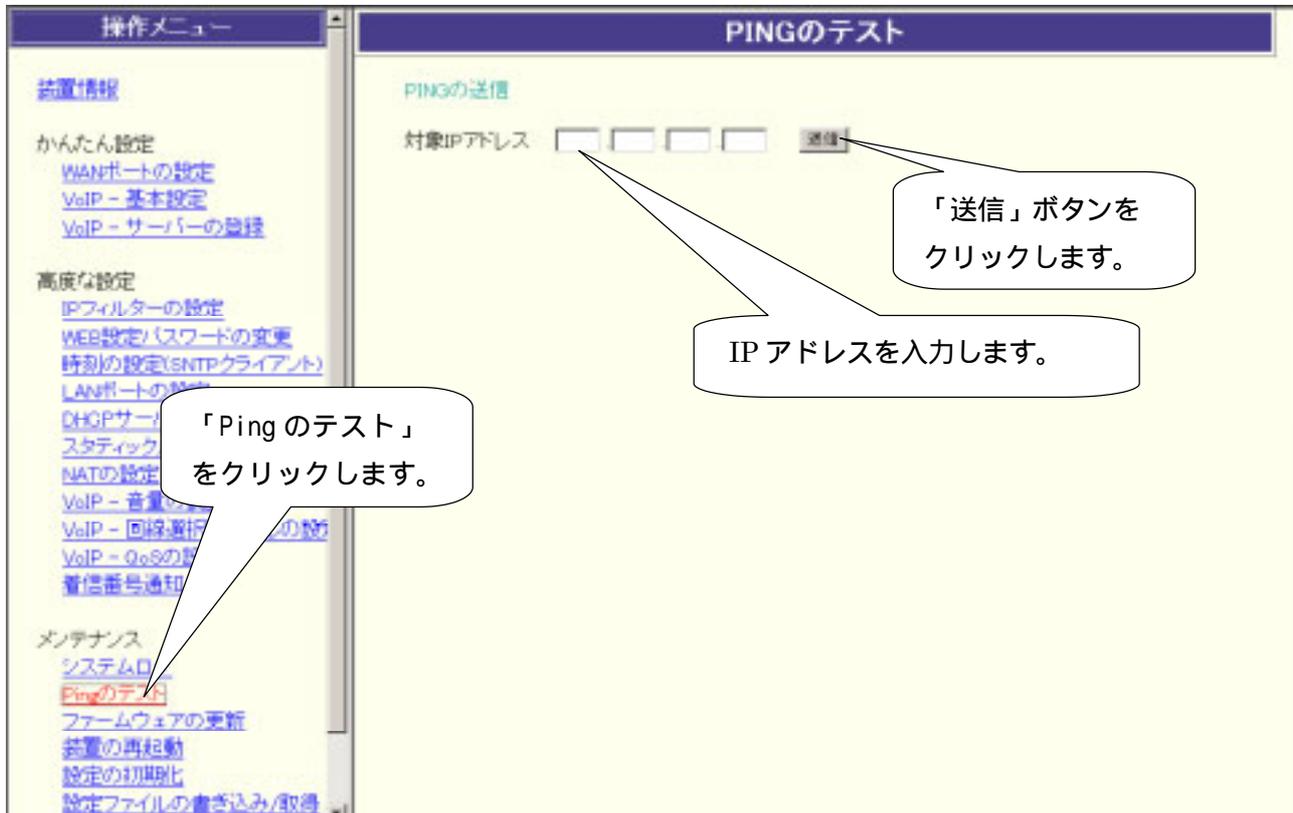


- 本機を再起動または電源を切断しますとシステムログは消去されます。

2-4-2 Ping のテスト

対象 IP アドレスへの ICMP ECHO-REQUEST の送信をします。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「Ping のテスト」をクリックします。
2. 「Ping のテスト」画面が表示されます。
3. IP アドレスを入力して、「送信」ボタンをクリックします。



4. Ping 送信の結果メッセージが表示されます。

メッセージ

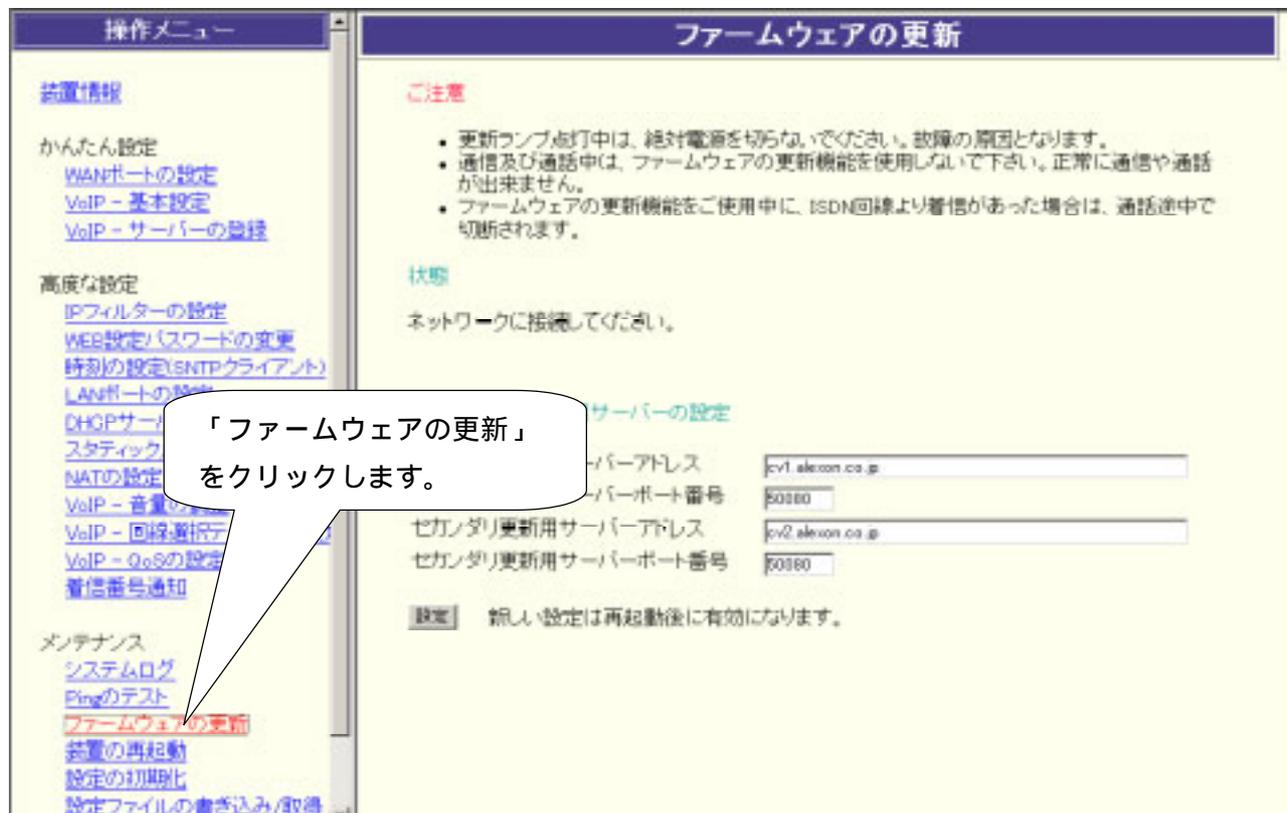
```
PING 192.168.1.1 (192.168.1.1): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=0 ttl=255 time=1 ms
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=1 ttl=255 time<10 ms
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=2 ttl=255 time<10 ms

--- 192.168.1.1 ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0/0/1 ms
```

2-4-3 ファームウェアの更新

ファームウェア更新サーバーの設定します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「ファームウェアの更新」をクリックします。
2. 「ファームウェアの更新」画面が表示されます。



3. ファームウェア更新サーバーの設定を入力して、「設定」ボタンをクリックします。

オートダウンロードサーバーの設定

プライマリADサーバーアドレス	<input type="text" value="cv1.alexon.co.jp"/>
プライマリADサーバーポート番号	<input type="text" value="50080"/>
セカンダリADサーバーアドレス	<input type="text" value="cv2.alexon.co.jp"/>
セカンダリADサーバーポート番号	<input type="text" value="50080"/>

新しい設定は再起動後に有効になります。

「設定」ボタンをクリックします。

4. 設定を有効にするために再起動してください。

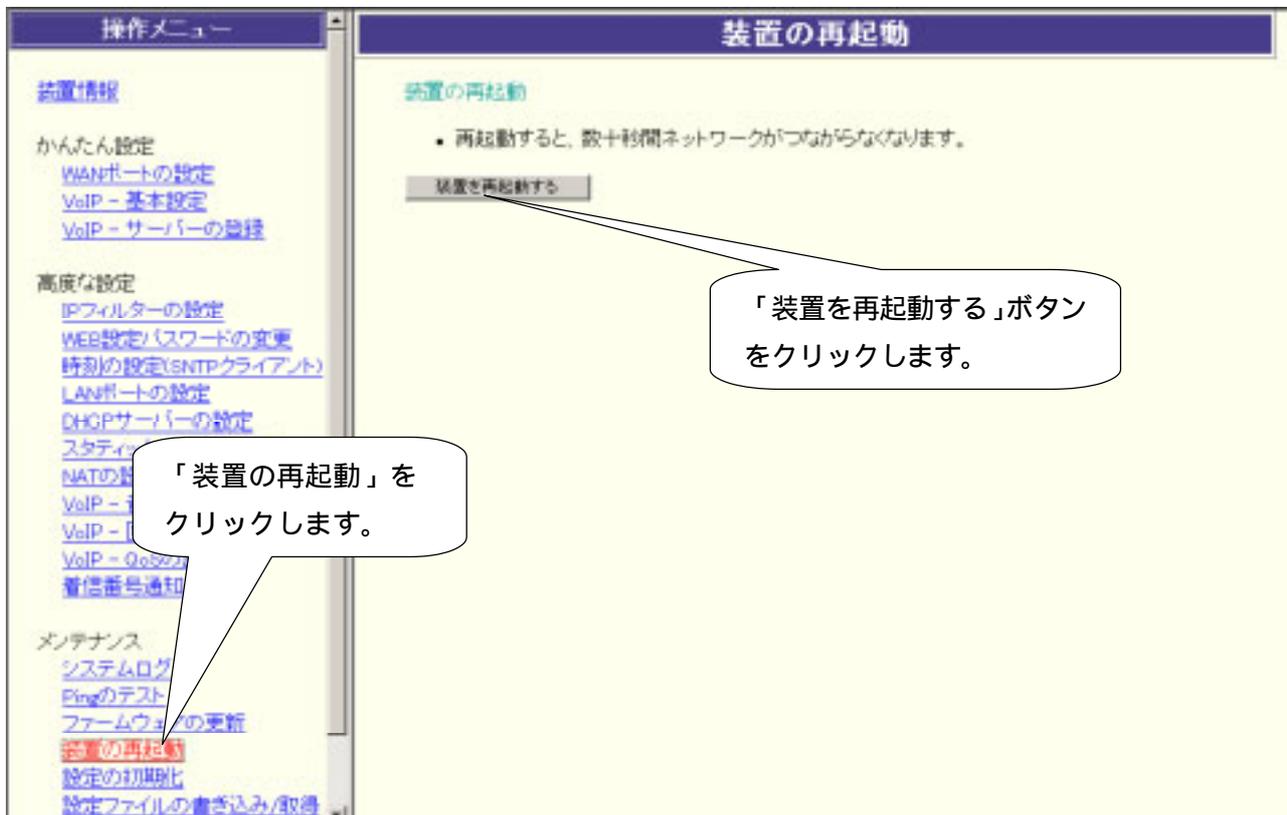


- 弊社のファームウェア更新サーバーに変更が発生した時のみ設定の変更をお願いします。
- 更新ランプ点灯中は、絶対電源を切らないでください。故障の原因となります。
- 通信及び通話中は、ファームウェア更新機能を使用しないで下さい。正常に通信や通話が出来ません。
- ファームウェア更新機能をご使用中に、ISDN回線より着信があった場合は、通話途中で切断されます。

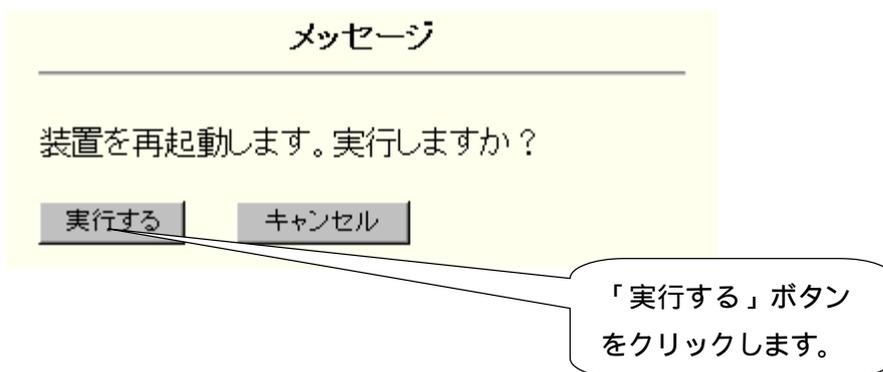
2-4-4 装置の再起動

本機の設定を有効にするために再起動します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「装置の再起動」をクリックします。
2. 「装置の再起動」画面が表示されます。
3. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。



4. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。



5. 本機の設定が有効になります。

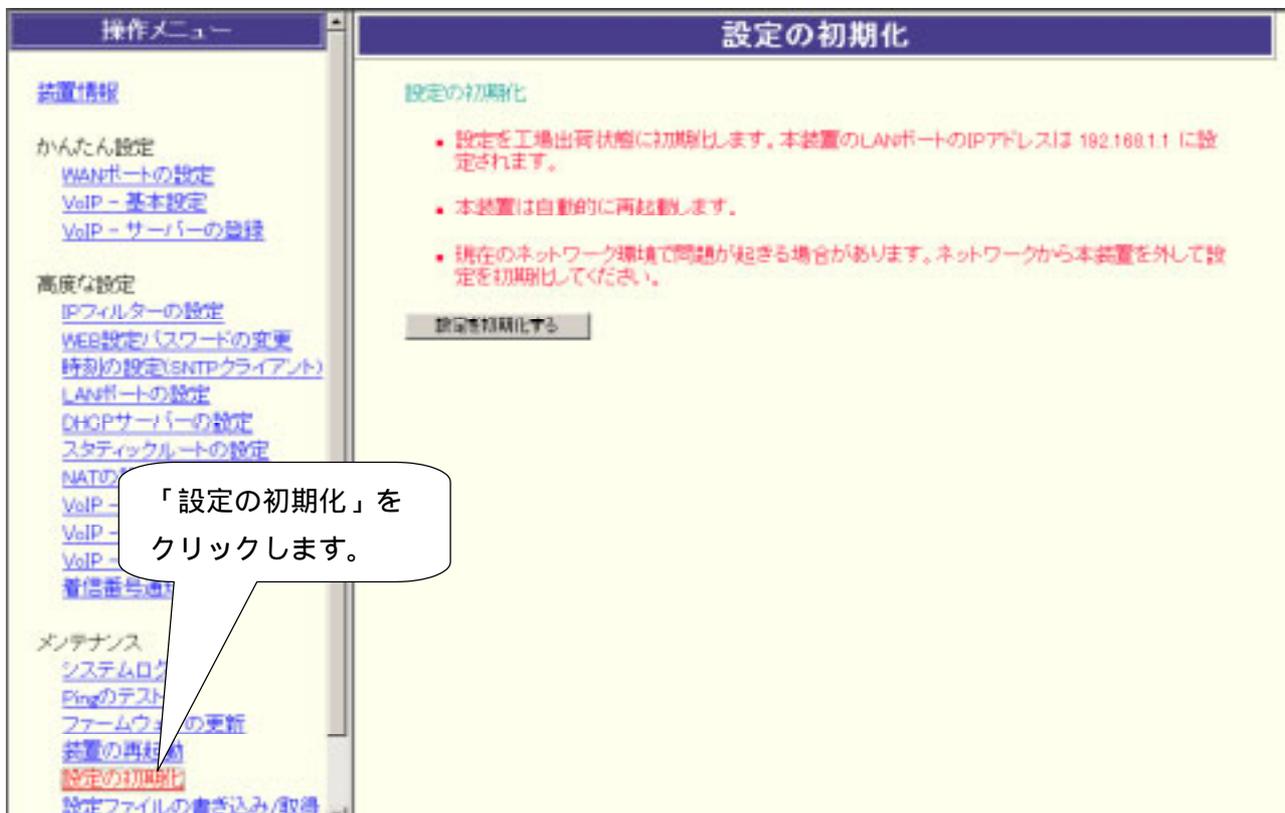


- 再起動しますと、数十秒間ネットワークが繋がらなくなります。
- ステータスランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能と Web 設定は動作しません。

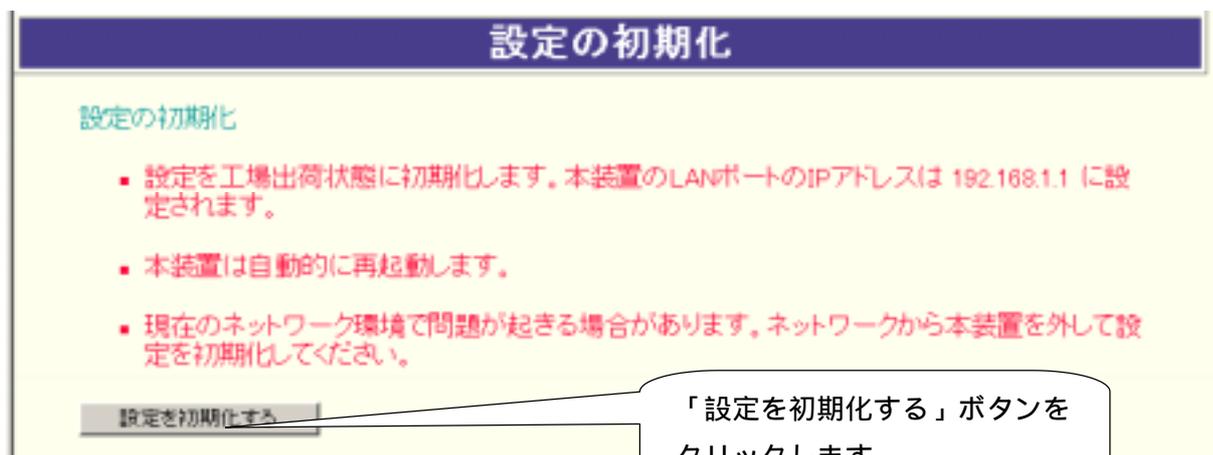
2-4-5 設定の初期化

本機の設定を工場出荷状態に初期化します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「設定の初期化」ボタンをクリックします。
2. 「設定の初期化」画面が表示されます。



3. 「設定を初期化する」ボタンをクリックします。

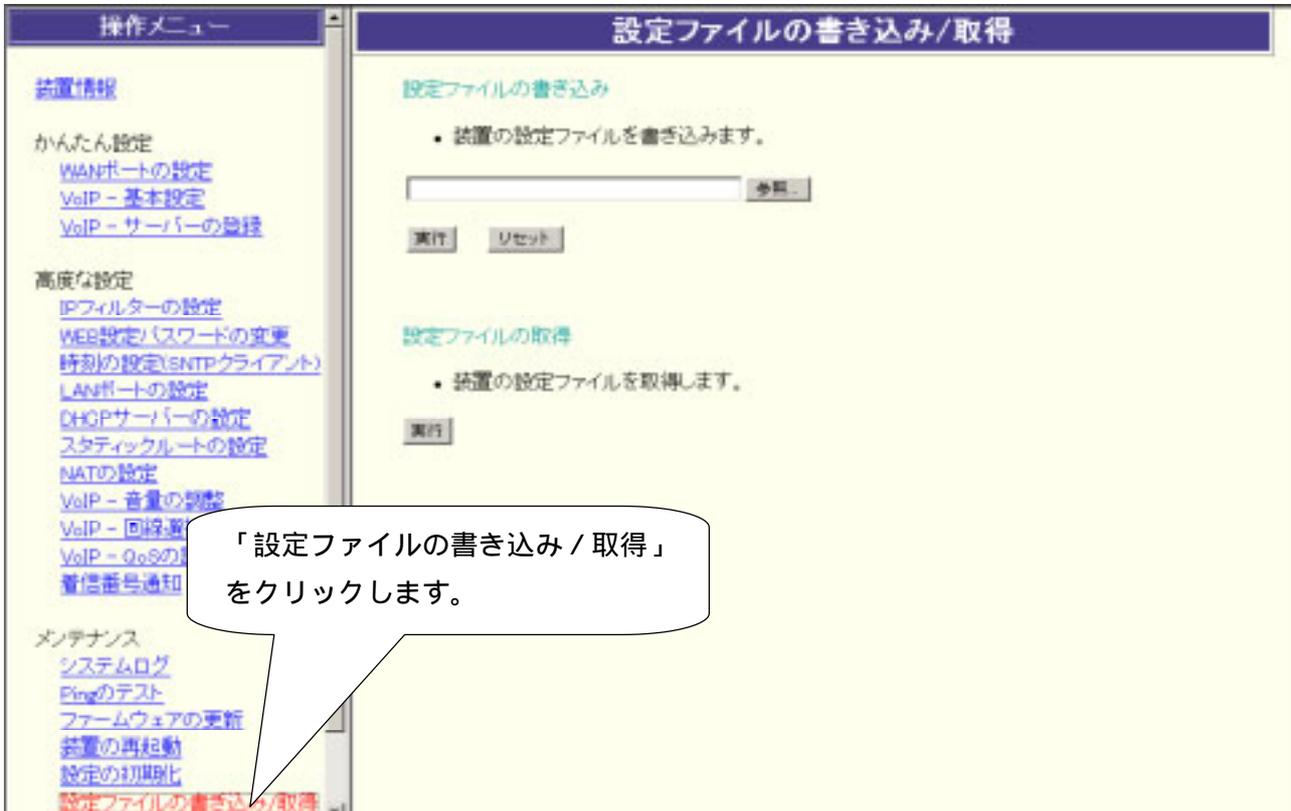


- 初期化しますと LAN ポートの IP アドレスは 192.168.1.1 に設定されます。
- 現在のネットワーク環境で問題が起きる場合があります。ネットワークから本装置を外して設定を初期化してください。
- ステータスランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能と Web 設定は動作しません。

2-4-6 設定ファイルの書き込み / 取得

本機の設定情報をファイルに書き込んだり、その設定ファイルを読み込んで本機に設定できます。

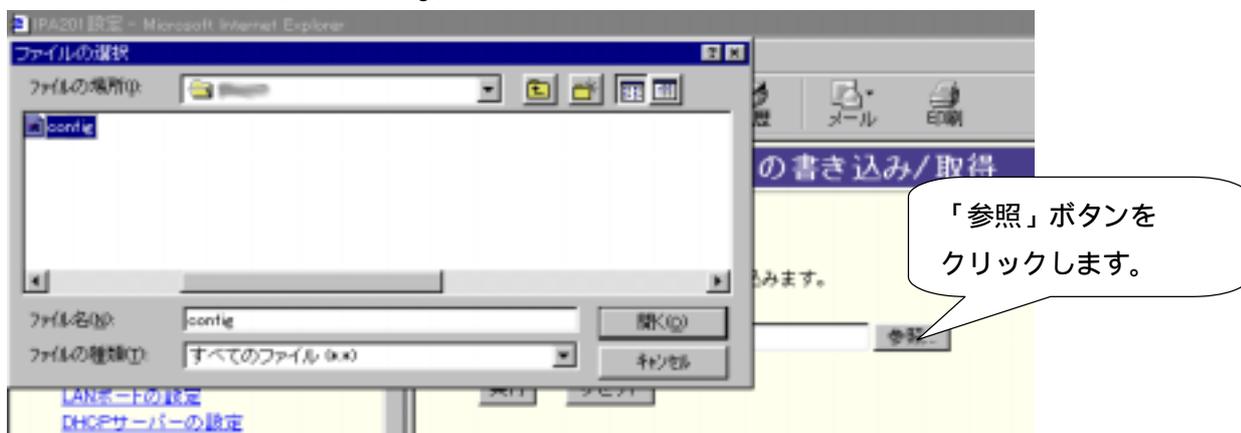
1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「設定ファイルの書き込み / 取得」をクリックします。
2. 「設定ファイルの書き込み / 取得」画面が表示されます。



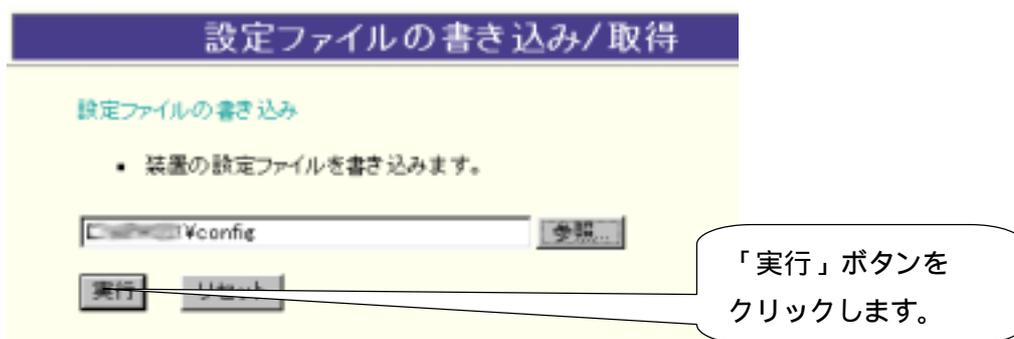
2-4-6-1 設定ファイルの書き込み

保存した設定情報を本機にアップロードして設定することができます。

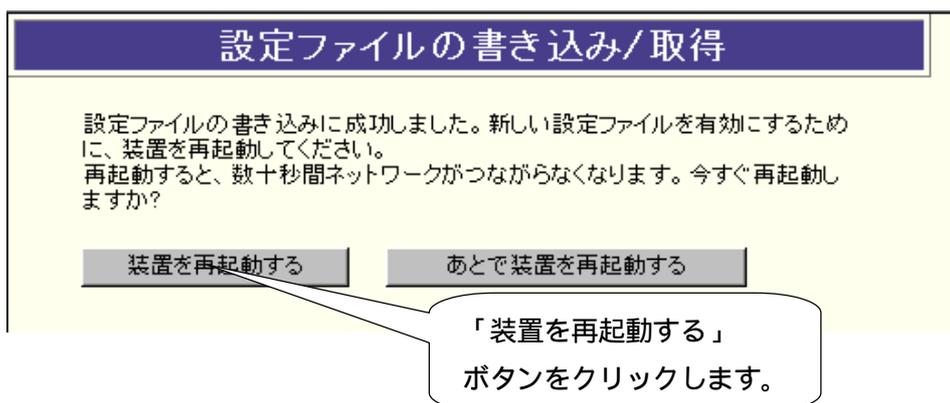
1. 「参照」をクリックします。
2. 設定ファイル（例：config）を選択して、「開く」ボタンをクリックします。



3. 「設定ファイルの書き込み/取得」画面に戻りますので、「実行」ボタンをクリックします。



4. 下記画面に変わりますので、「装置を再起動する」ボタンをクリックします。

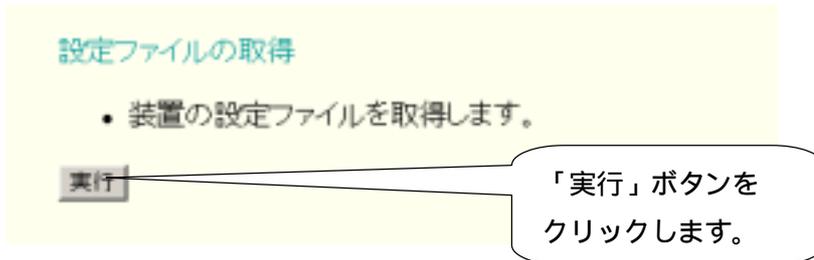


- 再起動しますと、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
- ステータスランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能と Web 設定は動作しません。

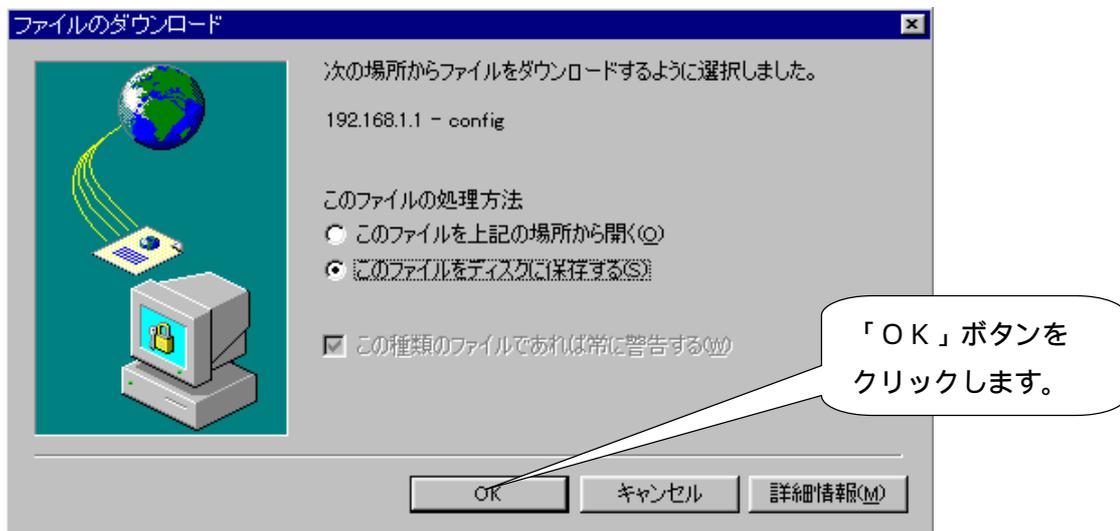
2-4-6-2 設定ファイルの取得

本機の設定情報をファイルにダウンロードして保存することができます。

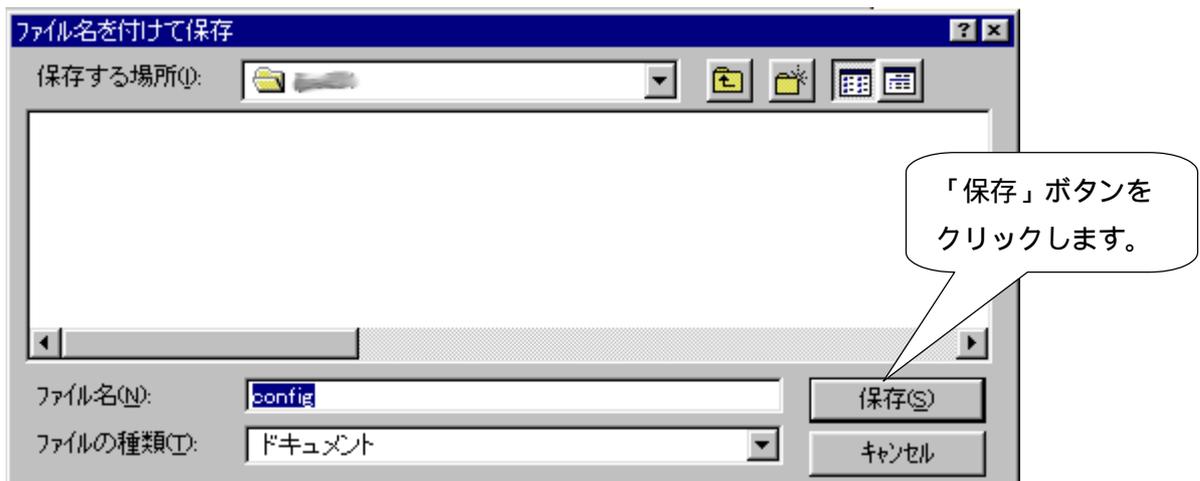
1. 「設定ファイルの取得」の「実行」ボタンをクリックします。



2. 下記画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



3. ファイルを保存するフォルダーへ移動して、「保存」ボタンをクリックします。



4. これで設定ファイルは指定のフォルダーに保存します。

2-5 SIP UA-UAテスト

工場出荷時のテスト機能です。

設定されずと正常に機能しなくなりますので、設定されないようにお願いします。



- 工場出荷時のテスト機能です。
- この設定を行った場合、通常の動作はしません。「設定の初期化」を行ってから必要な設定を再度行ってください。
- 「設定を初期化する」ボタンをクリックしますと、設定の初期化後 自動的に再起動します。その後、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
- ステータスランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能と Web 設定は動作しません。

お問い合わせ先 サポートセンター 伊丹 ☎072-780-1101
受付時間：月曜～金曜 9:20～12:00・13:00～17:00
（祝祭日、年末年始、弊社休日を除く）
<http://www.alexon.co.jp/>



本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは、堅くお断りします。
本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

2004.06.03

TIM2081C